

ガーベラ
Gerbera
(キク科)

2～3年据え置きで栽培される宿根草切り花。花の大きさにミニと大輪に分類されている。おおむね舌状花の花弁が開いた段階で収穫されるので、輸送中の傷みを防ぐためにキャップがつけられている。キャップは水揚げが終わってからはずす。葉はロゼット状で、葉をつけず花茎だけで出荷する。採花はおもに手で引き抜くので、切り口は鋭利ではない。

日持ち終了の主な症状は、花弁の変形、萎凋および花首の折れ(ベントネック)である。

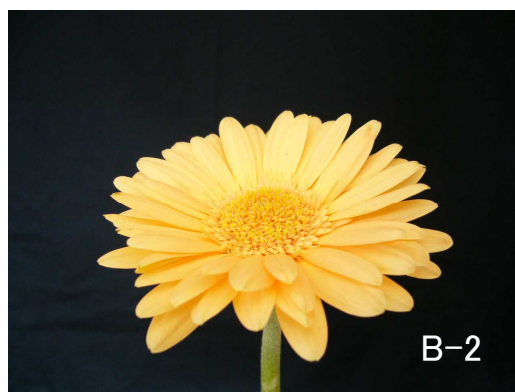
1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
筒状花の開花	中央部の筒状花の直径に対して A: 1/3が開花 B: 2/3が開花 C: すべて開花 D: 褐変が始まる	通常出荷時点では1/3程度が開花した状態
花弁の萎れ	触ってみて、 A: かたく張りがある B: やや軟らかい C: 軟らかい D: 視覚的に、垂れ下がる	
花弁の乱れ、巻き、および落下	A: 乱れない B: やや乱れる、またはやや巻く C: 乱れる、または巻く D: 花弁が筒状になる、または落下する	
花茎の曲がり・折れ	A: 硬く直立 B: やや曲がる C: 曲がる(花が横を向く) D: 折れ曲がる(花が下を向く)	
灰色かび病	A: 発生なし C: 花弁に、小褐変が生じる D: 大褐変(5mm以上)となる	
その他	茎基部の腐りなど	

2) 留意点

灰色かび病の発生が認められる切り花は調査に用いない。
灰色かび病に感染した切り花では花首が褐変して折れることがある。
生け花する前には茎を鋭利な刃物で切り戻す。
切り口が腐りやすいので、浅水に生ける。

3) 開花



4) チェック事項

